

THK が最終赤字を計上一格付に直ちに影響せず

以下は、THK 株式会社（証券コード：6481）の 25/12 期決算についての株式会社日本格付研究所（JCR）の見解です。

■ 見解

- (1) 当社は 2 月 12 日、25/12 期の営業利益（IFRS）が 144 億円（前期比 9.3% 減）、親会社の所有者に帰属する当期利益が 698 億円の赤字（前期は 104 億円の黒字）になったと発表した。輸送機器事業を営む連結子会社の株式譲渡及び債権譲渡に伴い、事業整理損失として 816 億円を計上したことが響く。一方、同日に発表した 26/12 期の営業利益は 260 億円の計画であり、産業機器事業の業績回復が想定されている。なお、25/12 期より、輸送機器事業は非継続事業に分類されている。
- (2) 本件が格付に直ちに影響するとは考えていない。最終赤字となったものの、25/12 期末の親会社の所有者に帰属する持分は 2,613 億円、持分比率は 55.3% であるなど、財務健全性は維持されている。また、輸送機器事業の譲渡による収益基盤への影響も限定的と見られる。同事業は売上収益に占める割合こそ大きいが、利益貢献は小さく、投資に見合う十分なリターンを得ることが難しい状況にあった。JCR は引き続き、産業機器事業における需要回復の状況と構造改革の成果のほか、今後の財務運営方針に注目していく。

（担当） 関口 博昭・長安 誠也

【参考】

発行体：THK 株式会社

長期発行体格付：A+

見通し：安定的

■ 留意事項

本文書に記載された情報は、JCR が、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したもので、ただし、当該情報には、人為的、機械的、または他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCR は、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCR は、当該情報の誤り、遗漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCR は、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCR の格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものではありません。JCR の格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っています。JCR の格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCR が保有しています。JCR の格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCR に無断で複製、翻案、改変等をすることは禁じられています。

■ NRSRO 登録状況

JCR は、米国証券取引委員会の定める NRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の 5 つの信用格付クラスのうち、以下の 4 クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。

■ 本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL : 03-3544-7013 FAX : 03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.

信用格付業者 金融庁長官（格付）第 1 号

〒104-0061 東京都中央区銀座 5-15-8 時事通信ビル